



関西国際空港 旅客施設 本格運用

-旅客手荷物取扱いシステムが完全復旧、大阪（伊丹）・神戸における代替受入れ終了-

関西エアポート株式会社は、台風 21 号の影響を受けた関西国際空港内の旅客手荷物取扱いシステムの完全復旧を確認したことをお知らせいたします。

本日未明、第 1 ターミナルビル 1 階南側にある旅客手荷物取扱いシステムの一部の機能復旧と安全性を確認し、これをもちまして関西国際空港の旅客施設機能は完全回復し、本格運用に至りました。

関西国際空港の旅客施設の本格運用開始に伴い、緊急時における国際拠点空港の代替機能確保として措置いただいていた大阪国際空港及び神戸空港における国際線・国内線の代替受入れが本日付けで終了いたしますのでご報告と共に御礼申し上げます。

関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO 山谷佳之・代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント

「9月4日に台風21号の被害を受けて以来、関係各位のご協力を賜り関西国際空港の早期復旧を行い、漸く旅客ターミナルビルの本格運用に至りましたことを、大変喜ばしく思っております。

これまでご尽力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

関西国際空港が今般本格運用に至るまで、大阪国際（伊丹）・神戸両空港での代替便の受入れをご検討、ご了解いただきました関係者の方々に、改めて御礼申し上げます。心よりのご配慮の数々、誠にありがとうございました。」

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

企画・管理部 広報・ブランディングチーム

Tel : 072-455-2201